

【T&S Monthly News 潮風みらい通信 2026年7月号】

今月のメニュー

1. 今月の特集：トップエンジニアが語る！
大規模基幹システム刷新の舞台裏
2. 今後のスケジュール

いつもご覧いただき、ありがとうございます。

T&S Monthly News を通じて、様々な情報を発信してまいります。
今月の潮風みらい通信は、「トップエンジニアが語る！」シリーズの第2弾として、大規模基幹システム刷新の舞台裏についてご紹介します。



1. 今月の特集：トップエンジニアが語る！大規模基幹システム刷新の舞台裏

社会のインフラとも言える大手通信会社の業務システム。その老朽化した巨大システムの EOSL (End of Service Life／サービス提供終了)に伴う刷新という、極めて難度の高い長期プロジェクトが動き出しています。

今回は、この大規模開発の共通部品系エリアという重要なポジションを率いる、エンジニア歴 36 年のベテラン、当社グループの事業子会社である TS システムソリューションズ株式会社(以下、TSS)システムサービス部の今井武史ディレクター兼部長に、プロジェクトの現状と開発の裏側について話を聞きました。

—まず、プロジェクトの概要について教えてください。

現在参画しているのは、大手通信会社様の業務用基幹システム(顧客管理システム)を大規模に刷新するプロジェクトです。全国の販売店と本社をオンラインでつなぎ、契約の締結・変更・解約から顧客管理、各種問い合わせ対応までを一手に担う、まさに企業の心臓部となるシステムを構築しています。

私がこのプロジェクトに携わってからまだ 3 ヶ月ほどですが、全体では 4～5 年程度を要する予定の非常に息の長い長期プロジェクトになります。基本のウォーターフォールに従い、現在は最初の「要件定義」のフェーズにあり、今後は基本設計、詳細設計、制作へと順次フェーズが進んでいく見込みです。

—大規模なシステム更新ならではの難しさはどんな点でしょうか？

非常に大掛かりなシステム刷新であるため、当社だけでなく複数のシステム会社が共同でチームを組成して取り組んでいます。そのため、開発現場特有の共通ルールに則って運用していく難しさや苦労がまずあります。

また、全国の販売店網を支えるシステムですから、万が一にもミスがあると全国の店舗業務が一斉に停止してしまうという巨大なリスクを孕んでいます。社会的な影響力が極めて大きく、絶対にミスが許されない世界だからこそ、日々の作業には非常に細心の注意と緊張感を持って臨んでいます。



—技術的に特に難しい、あるいは「腕の見せ所」となる部分はどこですか？

技術面における最大の挑戦は、古くなった Java で書かれたプログラムを紐解くところから始まる点です。長年の運用を経て時間が経過しているため、仕様書や設計図などのドキュメントが十分に保存されていない箇所もあります。当時の詳しい仕様を知る人も少なくなっているため、まずはその「知っている人」を搜索することから始めなければならない局面すらあります。



今回は、古い Java を最新の Java に置き換えるだけでなく、もともとオンプレミスだったシステムをクラウド環境へ移行する計画となっています。しかし、ミドルウェアを同時に変更しようにも、ベースとなる OS 自体が古いため、安易に取り替えると正常に作動しない恐れがあります。

あらかじめ決められた設計手順があるわけではなく、最近では生成 AI も活用しながら、常に代替案を検討し、試行錯誤を繰り返して最適なソリューションを見つけていく——。やってみないとわからない部分も多いですが、技術者としてはまさに腕の見せ所だと感じています。

—その中で、TSS はどのような役割を担っているのでしょうか？

当社は主に「共通部品系」のエリアを担当しています。これは他社の開発工程においてベース(基盤)になる部分ですので、プロジェクト全体を左右する非常に重要で責任のあるポジションを任されていると自負しています。要求される技術レベルが非常に高く、機密性も高いため、基本的にはお客様のオフィスで作業を行います。高い精度で整備されたクラウド上のバーチャル作業空間も活用し、セキュリティに配慮しながら柔軟な環境で開発を進めています。

—チームのマネジメントや、今後の展望について教えてください。

現時点での当社のチームはまだ小規模ですが、今後のフェーズ進展に伴ってチームが大きく拡大していくことを期待しています。これほど大規模で複数の業者が関わる共同プロジェクトでは、技術力と同じくらい、チーム内のコミュニケーションやメンバーのマネジメントが重要な要素になります。

プレッシャーの大きい厳しい現場ではありますが、だからこそここで「若手の育成」にも力を入れていきたいですね。単なる技術的なスキルアップにとどまらず、お客様からの確にニーズを聞き出す力や、他社のチームと円滑に共同開発を進めるためのコミュニケーション能力など、一線で通用する真の強さを身につけてもらいたいと考えています。



—最後に、読者の皆さまへメッセージをお願いします。

このプロジェクトは、要求される水準も高く決して楽な仕事ではありませんが、社会インフラを支えるというプレッシャーの大きさが、そのまま「やりがいの大きさ」に直結しています。

私たちはこれからも、確かな技術力と粘り強い試行錯誤で、お客様、そしてその先にある社会に安心を届けるために挑戦を続けてまいります。

2. 今後のスケジュール

- ◇ 8月13日 2026年9月期 第3四半期決算発表(15時30分)
- ◇ 8月19日 T&S Monthly News 潮風みらい通信 2026年8月号発刊

メール会員募集中です。登録はこちらから ⇒ <https://www.magicalir.net/4055/mail/index.php>